

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です

食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことをいいます。

日本では「食品ロス」の量は、年間で523万トン（令和3年度推計値）とされ、国民1人が毎日お茶碗1杯分（約114グラム）のご飯を捨てているのと同じ量になるとされています。木古内町の食品ロス量を単純に計算すると、年間で約152トンと想定されます。



～食品ロスを防ぎ、ごみを減らしましょう！～

家庭からの食品ロスの要因は、料理の作りすぎによる「食べ残し」、野菜の皮や芯など食べられる部分を切ってしまう「過剰除去」、未開封のまま食べずに捨ててしまう「直接廃棄」の3つです。一人ひとりが意識し、工夫することで食品ロスを減らすことができます。以下のポイントを参考にしながら、食品ロスを減らしてみましょう。

買物編

- 買物前に冷蔵庫等にある食材を確認しましょう
 - ・メモ書きや携帯・スマホで撮影し、買物時の参考にしましょう
- 使う分・食べきれ的分だけ買しましょう
 - ・まとめ買いを避け、必要な分だけ買い、食べきりましょう
- 期限表示を知って賢く買しましょう
 - ・利用予定と照らして、期限表示を確認し、すぐ使う食品は、棚の手前から取りましょう

家庭編

- 適切に保存しましょう
 - ・記載されている保存方法に従って保存しましょう
- 食材を上手に使い切りましょう
 - ・残っている食材から使いましょう
 - ・作りすぎて残ってしまった料理は、作り替えなどで工夫しましょう
- 食べきれぬ量を作りましょう
 - ・体調や健康、家族の予定も配慮しましょう

捨ててしまっていた野菜の皮や芯を使ったり、食べきれなかったりした料理を作り替えるレシピがインターネットで紹介されています。（右記二次元コード参照）

食品ロスの削減は、SDGsの重要な柱の1つです。地球環境のことを考え、食べ物を大切にすることや、捨てないで使い切ることから始めてみませんか。

■お問い合わせ 町民課住民グループ ☎01392-2-3131



建築物の解体・改修・各種設備工事のルールが変わります！

令和5年10月1日着工の上記の工事から、「建築物石綿含有建材調査者」等による石綿含有に関する事前調査が必要となります。

石綿障害予防規則により、工事の規模にかかわらず、工事対象となる全ての範囲について石綿が含まれているか事前に調査を行う必要があります。

施工業者の皆さまには、調査者要件を満たした者による事前調査と調査結果に基づく適切な施行をお願いします。

また、発注者の皆さまには事前調査を含めた適切な工事施工のためのご配慮をお願いします。詳細につきましては、右記二次元コードより北海道労働局ホームページ内の「石綿障害予防対策について」をご覧ください。

■お問い合わせ 建設水道課建設水道グループ ☎01392-2-3131

